



お元気ですか！
志村 たかよし です

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

歴史と文化が出会う街 中央区まるごとミュージアム2015



バラの花びらで作った「花絨毯」＝晴海トリトン



水辺周遊ルートの発着所となった明石町防災船着場



マリンバとヴィブラフォンのデュオ。太鼓も叩いてノリノリ！



リクエストに応じてトランペットを演奏。

11月1日、8回目を迎える「中央区まるごとミュージアム」が開催されました。
このイベントは「区内にみちあふれる名所や旧跡、伝統芸能、画廊・美術館、水辺などさまざまな文化資源に恵まれた歴史と最先端の未来とが織りなす文化の宝庫、まさにまち全体がミュージアム」（パンフレットより）という位置づけで行われています。
当日は、40を超えるイベントが行われましたが、一日ですべてを回りきれませんので、今年も、晴海や築地を中心に楽しみました。
毎年期待しているのが各船着場での「ヘブンアーティスト」の演技（演奏）です。明石町の防災船着場では、参加者も巻き込んだすばらしい音楽が鳴り響きました（下写真）。
あちこちを巡りながら、大切な中央区の歴史や文化が、大規模開発などによって破壊させてはならないと強く思いました。



遊びながら、楽しみながら、みんなと学ぶ 第12回「子どもとためす環境まつり」

①



②

③



⑥



④

⑤

10月31日、体験型のイベント「子どもとためす環境まつり」が開催されました。
主催は中央区環境保全ネットワークで、中央区教育委員会との共催です。12回目を迎える「環境まつり」ですが、今年は、明石小学校（写真①）で行われました。
メイン会場となった体育館には、たくさんの参加者が集まり（写真③）、熱気があふれていました。
子どもたちは、スタンプリヤーを楽しみながら各ブースを回ります。
簡易カプセルによる二酸化窒素の検出実験に取り組んだり（写真②）、檜原村の

「中央区の森」の間伐材を使った飛行機のおもちゃ（写真④）を作ったり（写真⑤）、新聞紙で帽子を作ったり（写真⑥）…と、子どもたちの目は、キラキラと輝いていました。

「意見」を「要望」まで、お気軽に「連絡ください」(03-5561-0000)